

## 全国でも有数の産地 モロヘイヤが出荷ピークを迎えます

JA 松阪（代表理事理事長：山本清巳）では、7月中旬から8月末にかけて、モロヘイヤが出荷のピークを迎えます。当JAでは全国に先駆けて平成4年から本格的な出荷を開始しました。生産面積は県内1位で、三重県産モロヘイヤ出荷量のおよそ8割を当JAが占めているとともに、全国でも有数の産地です。

管内では現在、ハウス栽培と露地栽培の2つの方法で、生産者111人が約4.8haで栽培しています。ハウス栽培は4月下旬から、露地栽培は6月下旬から出荷が始まりました。出荷は県内外市場に向けて9月中旬頃まで行います。

今年度産のモロヘイヤは、初期生育で虫害が多くみられましたが、6月下旬以降の温度の上昇と適度な雨により生育が活発となり、上々の出来栄えとなっています。

集荷日：月、水、木、金、日曜日

出荷場所：JA松阪西部集出荷センター

（住所：松阪市伊勢寺町3215番地）

集荷時間：午前8時30分～午前10時00分

午後4時00分～午後4時30分

※天候や収穫状況により、出荷量は日によって異なります。

○JA松阪モロヘイヤの生産情報

生産者数：111人

生産面積：4.8ha

昨年度出荷量：約30トン

出荷先：県内外市場

○モロヘイヤについて

モロヘイヤは茹でたり細かく刻んだりすると独特のネバリが出るのが特徴です。エジプト生まれの野菜で、アラビア語で「王様の野菜」という意味があり、エジプトの王様の難病を救ったという伝説があるほど、高い栄養価を誇ります。



↑モロヘイヤ出荷の様子

【お問い合わせ】

JA松阪 企画部 企画広報課（広報担当：森本、池田）

TEL：0598-28-8822（事務所）、080-4177-6832（業務用携帯） FAX：0598-28-2122

H P：<http://www.ja-matsusaka.or.jp/>

E-mail：kouhou@ja-matsusaka.or.jp

※取材の際は事前にご連絡ください。写真の提供も致しますので、お気軽にご相談ください。